

下原・床谷地区 地域づくり計画

トンネルくぐれば、活力と笑顔の集楽



昭和41年頃の下原・床谷地区の風景

目 次

I. はじめに		1
1. 地域づくり計画とは		1
II. 概 要		2
1. 位 置		2
2. 人口・世帯		3
3. 行 事		4
III. 現状と課題		5
1. 防災・防犯		5
2. 道 路		5
3. 地域活動		6
IV. 地域資源		8
1. 名所・旧跡		8
2. 学び・交流・祭り		10
V. 10年後の姿		11
VI. 計 画		12
1. 防災・防犯		12
2. 道 路		12
3. 健康活動		13
4. 環境整備		13
5. PR活動		13
6. 短期計画		14
7. 長期計画		15
VII. 重点項目		16
VIII. 地域づくり計画策定		17
1. 地域づくり計画策定までの取り組み経過		17
2. 地域づくり委員会名簿		17
■ 資 料		
1. アンケート結果		

I. はじめに

1. 地域づくり計画とは

住民一人ひとりが主役となり、今までのように、問題があった時に単に行政に要望するのではなく、解決できることは地域で解決するという連帯感と地域力の向上を図ることを目的とし、将来像を見据えた独自の計画です。

また、地域づくり計画を作ることで、地域力で解決できること、行政にお願いすることが明確になり、活動が計画的に実施でき、行政への要望活動も円滑にできるようになります。



Ⅱ. 概 要

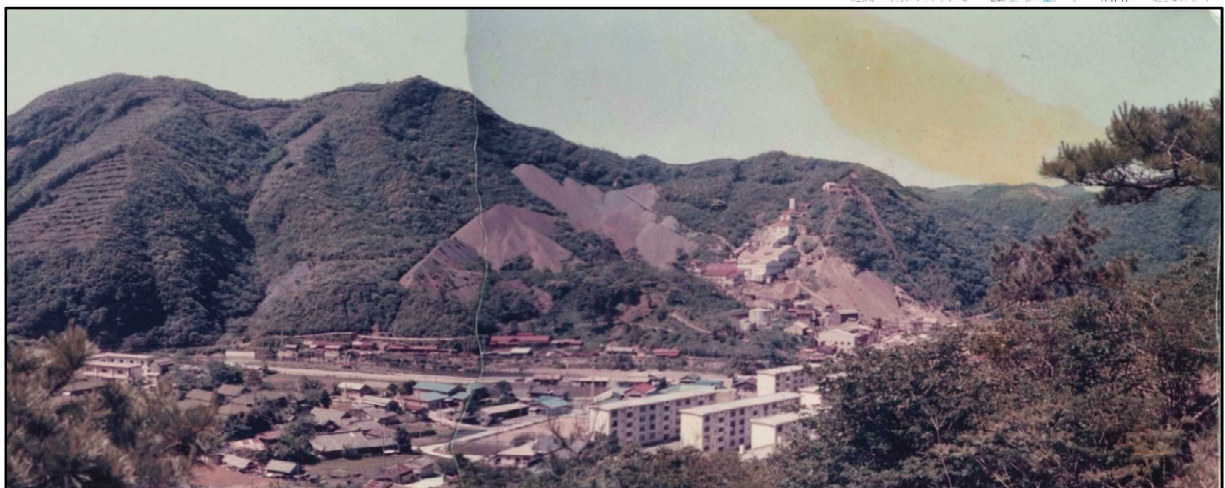
1. 位 置

下原・床谷地区は厳原の西部に位置し、佐須川の中流に開けた平野部にあり、水田、そば畑等が広がる農業地帯である。

古くは東邦亜鉛対州鉱山が盛んで、日本で最初に銀が発掘された地域であり、最盛期には下原・床谷地区だけで3,000人を超える人口を有していたが、昭和48年の閉山に伴い、急激な人口流出により、現在は約230人程度にまで減少している。

一時は、専業農家の担い手が減少し、農業などの一次産業と公務員、会社員等の三次産業との兼業世帯が主であったが、近年ではそばの生産や野菜の栽培が盛んになり、専業農家の担い手も増えてつつある。

また生活面では、昭和の大合併からの念願であった佐須坂トンネルが平成27年度に開通することにより、厳原から急カーブ、急勾配の道路を車で30分かかっていたのが、15分以上短縮されることになり、救急医療をはじめ、人流・物流面において利便性が向上し、交流人口の増加が期待される。



昭和46年頃の風景

2. 人口・世帯

下原、床谷地区の人口は、平成27年1月現在で235人、年齢構成は60歳以上が109人で46%、高齢化率が高い集落となっている。
人口の推移は平成23年と比較すると、高齢者率が高いため、人口の大きな増減は見られない。

世帯数については、下原地区はあまり増減はないが、床谷地区は市営住宅がある関係で、多少の増減が見られる。

今後、佐須坂トンネルが開通すれば、市営住宅への入居者が増え、世帯数と人口の増加が期待できる。

■過去5年間の人口及び世帯数の推移

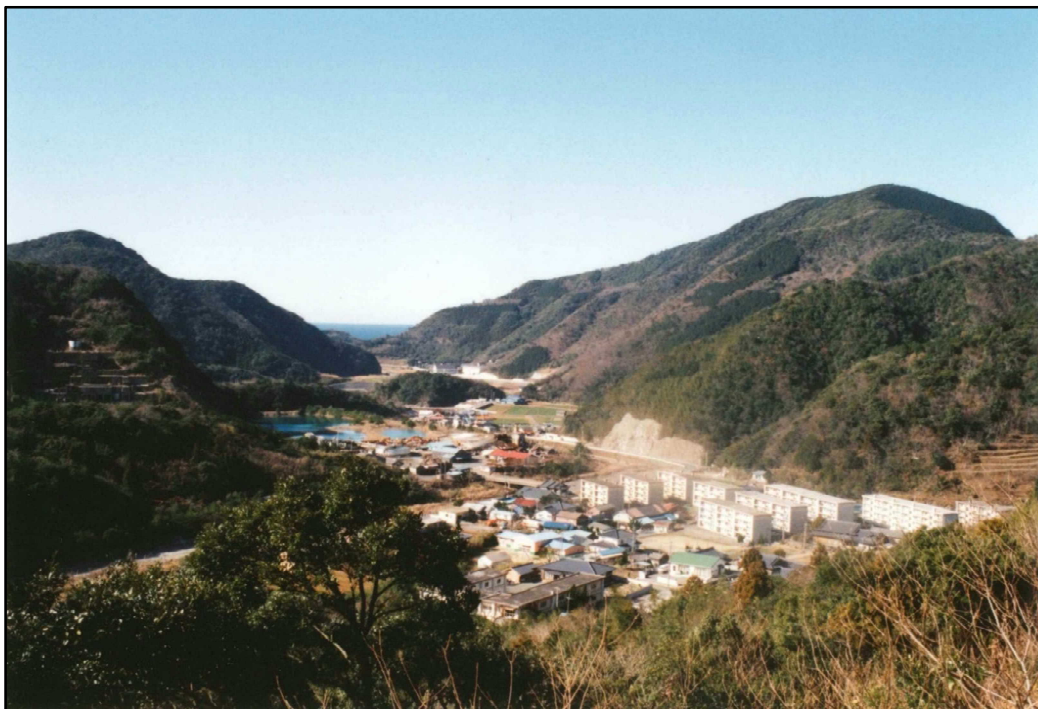
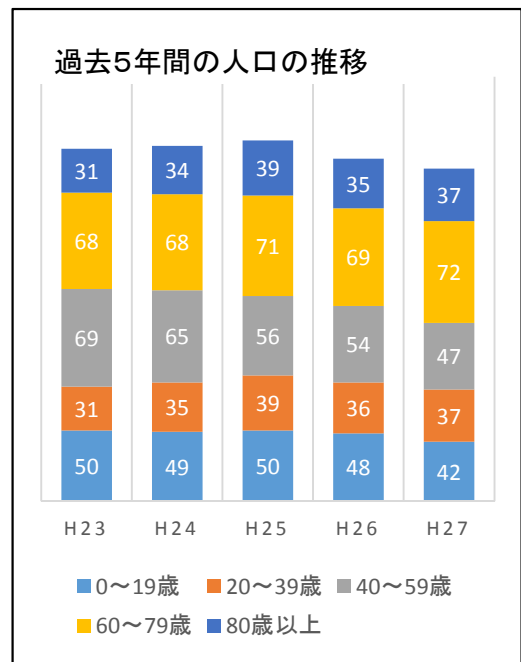
※平成7年度は参考までに掲載

(単位:世帯)

年度		H7	H23	H24	H25	H26	H27
区別							
世帯数	下原	76	66	65	66	63	63
	床谷	52	48	47	50	44	43
	合計	128	114	112	116	107	106

(単位:人)

年度		H7	H23	H24	H25	H26	H27
区別							
0～19歳			50	49	50	48	42
20～39歳			31	35	39	36	37
40～59歳			69	65	56	54	47
60～79歳			68	68	71	69	72
80歳以上			31	34	39	35	37
計		360	249	251	255	242	235



平成11年頃の風景

3. 行 事

月	行 事
4月	千一（せんいち）神社・若御子（わかみこ）神社例大祭
6月	地区大掃除
7月	アソピンピック
10月	山の神神社大祭
11月	お出船祭り 新嘗（にいなめ）祭
12月	お入りませ祭り お天道様祭り（走り、走り、祭り）2年に1回
1月	當（とう）祭り 井戸祭り
2月	祈念祭

Ⅲ. 現状と課題

1. 防災・防犯

① 防 災

- ・ 豪雨時に佐須川が増水し、主要地方道棧原小茂田線を乗り越えて地区内に流入する。
- ・ 佐須川とインゴト川の合流地点に土砂が堆積しているため、インゴト川の氾濫の原因となっている。



② 防 犯

- ・ 防犯灯について、随時整備されているが、まだまだ必要な箇所がある。



2. 道 路・河 川

- ・ 主要地方道棧原小茂田線については、佐須坂トンネルの開通により、移動時間が短縮されるが、佐須川沿線は越流により通行できない区間の改良が必要である。



3. 地域活動

① クリーン作戦

- 毎年、6月に区民全員で公道、河川等の清掃を実施している。



② 林道整備

- 市からの助成を受けて林道の舗装、除草作業を計画的に実施している。



③ 農地保全活動

- イノシシ、シカの被害を防止するため、計画的に防護ネットを設置している。
- 交付金を利用して、農業施設の維持補修活動を実施している。



④ 農業収穫祭

- 平成26年度より、佐須地区の農業者が結集し、農産物をPRするため、米、野菜等の販売と合わせて芋ほり等のイベントを実施している。



⑤ さざんかロード整備

- 佐須地区の玄関口とも言える、主要地方道棧原小茂田線の道路脇にさざんかを植栽し景観美化に努めている。

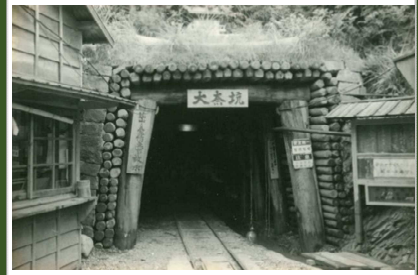
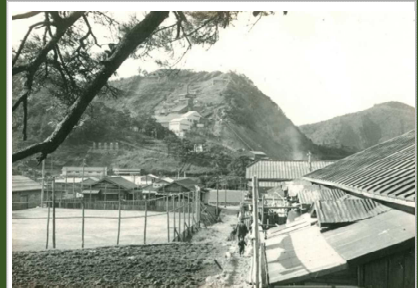


IV. 地域資源

1. 名所・旧跡

1. 東邦亜鉛対州鉱山跡

対州鉱山は、古代の国営銀山、藩営銀山と二度の輝かしい時代を歴史に遺している。その後、昭和23年から本格稼働した亜鉛鉱は昭和40年代前半が最盛期となり旧厳原町の基幹産業に成長し、下原・床谷地区で3,000人の人口を有した。しかし、貿易の自由化とカドミウム問題で経営が行き詰まり昭和48年12月20日に閉山したが、対馬の歴史に貴重な事跡を刻んだ。



2. お首塚

文永11年(1274)10月6日蒙古の軍船が佐須浦に襲来した。対馬地頭代宗資国は国府から佐須坂を越えて出陣、従者80騎で25,000の蒙古軍と勇戦奮闘し、全員戦死した。この資国主従を祀った神祀として小茂田浜神社があるが、これと別に下原に「お首塚」と「手足塚」、檜根に「お胴塚」として供養したものである。



3. 手足塚

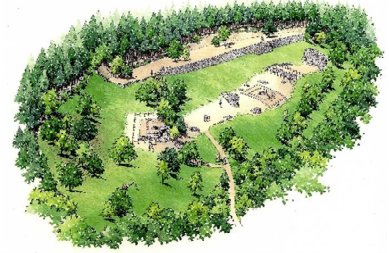
文永11年(1274)10月6日蒙古の軍船が佐須浦に襲来した。対馬地頭代宗資国は国府から佐須坂を越えて出陣、従者80騎で25,000の蒙古軍と勇戦奮闘し、全員戦死した。この資国主従を祀った神祀として小茂田浜神社があるが、これと別に下原に「お首塚」と「手足塚」、檜根に「お胴塚」として供養したものである。



4. 矢立山古墳

矢立山古墳群は、昭和23(1948)年の東亜考古学会による学術調査以降、1, 2号墳は円墳とされてきたが、平成12(2000)年に始まった厳原町と福岡大学による調査で、九州では類のない積石方形段築墳であることが明らかになった。また北に見つかった3号墳が横穴式石室を内部主体とする積石塚長方形墳であることも分かった。2号墳の石室は平面がT字形をなす全国的にも珍しい古墳である。

中央官人の最新墓制だった方形段築墳の採用や、金銅装太刀、銅鏡といった政権からの下賜品とみられる副葬品の存在から、7世紀代の東アジア情勢を背景にした大和政権との深い歴史的関係が窺える終末期古墳群である。



対馬市教育委員会文化財課 提供

5. さざんかロード

主要地方道棧原小茂田線沿いの下原地区お天道様通りにさざんかを植栽し、地域で管理を行っている。

地域の名物として、多くの方に見に来てもらえるよう、整備する。



2. 学び・交流・祭り

1. 体験であい塾「匠」

見る観光から体験する観光への足がかりとして整備された体験であい塾「匠」です。

そば打ち体験、若田硯製作体験ができます。

自分で打ったそばをその場で試食することはもちろん、食事処としても、おいしいそばがいただけます。



2. アソビンピック

毎年7月の第1日曜日に、佐須地区体育協会の主催で、グランドゴルフ、ミニバレーボール、ゲートボール、ドッジボール、大縄跳びの5種目を13地区が競い合います。

参加者は子供からお年寄りまで多いときで700人程にぎわい、大いに盛り上がります。



3. お天道様祭り(走り、走り、祭り)

旧暦の11月3、5、7の何れかの吉日に下原、檜根、上山の住民が御幣を新調し天道様に奉納する伝統行事。

午後3時前に神事が始まり、午後3時のホラ貝の合図で山持ち、一番様、二番様、三番様、神職、氏子の順にお天道様に向けて行列が始まる。そのうち、山持ちと一、二、三番様を持った者たちが走り出し競争になる。そのため別名を「走り、走り、祭り」ともいう。



4. 當(とう)祭り

毎年正月2日に、下原地区當受者が順番で、センペイ等を作って宗資国のお首塚、手足塚に供えてお祭りする儀式である。

昭和のはじめまでは、盛大に行われていたが、農地改革によって祭りの神田が配分され個人の所有となった結果、簡略され、現在も儀式を存続している。



トンネルくぐれば、活力と笑顔の集楽

- 地区間交流が少ない両地区が合同の作業、レクリエーションを通してふれあい、笑顔で活動できる地域づくりを目指します。
- 歴史遺産を整備し、PRをして交流人口を増やします。
- 専業農家の担い手が増えつつあるため、地元野菜の販売促進、休耕地を活用して誰でも参加できる農業集落づくりを目指します。
- 災害時には自分たちの命は自分たちで守るという意識を持ち、地域独自の避難経路図を作成し、一人ひとり理解し合い、安心して生活ができる地域づくりを目指します。



VI. 計 画

1. 防災・防犯

① 防 災

- ・自然災害に備えて、ハザードマップ等を作成し、避難経路・避難場所を周知する活動をする。
- ・佐須川の氾濫による増水対策について、要望を続ける。
- ・防火水槽、消火栓の位置を一人ひとりが把握し、必要な場所について要望する。
- ・初期消火の訓練として、女性も含め消火栓の使い方を地元消防団に指導してもらう。



② 防 犯

- ・防犯灯が必要な場所を調査し、行政に設置要望する。
- ・あいさつ、声かけ運動を実施し、犯罪の予防に努める。



2. 道 路・河 川

- ・道路の舗装、側溝、河川の調査・点検を実施し、維持工事が必要な場所について、行政に要望する。



3. 健康活動

- ・積極的にアソビンピックに参加し、交流を図る。
- ・区民全員によるグランドゴルフ大会を開催する。
- ・子供会の夏休みラジオ体操に積極的に参加し、健康増進に努める。

4. 環境整備

- ・さざんかロードの整備、旧対州鉱山学園跡を整備し、ふれあい広場を作る。
- ・合同クリーン作戦、林道整備、農地保全活動、名所・旧跡の清掃や整備を実施する。
- ・EM活性液を活用し、家庭排水等の浄化に努める。
- ・市営住宅横の広場を整備し、遊具等の設置について、行政に要望する。
- ・イノシシ、鹿ネットの見回りを実施し、整備をする。



5. PR活動

- ・農業収穫祭を通して、地元の野菜をPRする。また、名所・旧跡マップを作成し、地域をPRする。



VI. 計 画

6. 短期計画 (1～3年)

計画区分	項 目	内 容	事業区別
防災・防犯	ハザードマップの作成	市の補助事業を活用し地域独自の防災地図を作成し、地区住民に周知する。	地域
	消火栓の位置確認及び初期消火訓練	消火栓の位置を各自が把握し、地元消防団の指導を受けて初期消火訓練を実施する。	地域
	防犯灯の要望	防犯灯が必要な箇所を調査し、市に要望する。	市
道路	県道、市道、河川の補修要望	県道、市道の維持補修及び河川の浚渫等の要望をする。	県・市
健康活動	グランドゴルフ大会の開催	両地区のみんなが参加できるグランドゴルフ大会を開催し、地域の輪を広げる。	地域
環境整備	さざんかロードの整備	地域マネージャー事業を活用し、お天道様通りのさざんかの植栽、整備を実施する。	地域
	合同クリーン作戦の実施	両地区がなかよく一丸となって、両地区の合同クリーン作戦を実施し、環境美化に努める。	地域
	イノシシ、鹿ネットの見回り、整備	両地区合同で、イノシシ、鹿ネットの見回り活動及び整備を実施する。	地域
	不法投棄、ポイ捨て防止活動	空き缶拾い、看板作成・設置等の啓蒙活動を実施し、環境美化に努める。	地域
	EM活性液を利用した排水浄化活動	婦人会が主体となり、EM活性液を活用した排水浄化活動を実施する。	地域
PR活動	名所旧跡マップの作成	地域の名所旧跡を知ってもらうために、市の補助事業を活用し、地域独自のマップを作成し、配布する。	地域
	名所旧跡説明板、案内板の設置	市の協力を得て、名所旧跡の説明板、案内板を設置し、地域の名所旧跡をPRする。	市・地域

7. 長期計画（4～10年）

計画区分	項 目	内 容	事業区別
防災・防犯	河川氾濫による、増水対策	佐須川、インゴト川の氾濫による増水対策の要望	県・市
	避難場所、避難経路の整備	津波等による、高台への避難経路、避難場所整備の要望	市
道路	主要地方道棧原小茂田線の歩道整備	主要地方道棧原小茂田線の下原（日見橋）から金田小学校間の歩道未整備区間の整備要望	県
環境整備	旧対州鉾山学園跡の整備	旧対州鉾山学園跡地を整備し、いこいの広場として活用するため、市の協力を得て整備する。	市・地域
	市営住宅横広場のフェンス等の整備	小さい子供の遊び場を確保するため、既存の広場のフェンス等の改修要望	市
	歯科診療所敷地のフェンスの整備	現在使用している施設周囲の老朽化した危険なフェンス等の改修要望	市
	市営住宅用駐輪場の整備	市営住宅の階段室部分に放置されている自転車等に移設し、住宅環境の改善を図るため、駐輪場の整備要望	市
PR活動	名所旧跡の整備	数多く存在する名所旧跡をPRするため、市の協力を得て整備する。	市・地域
	周辺地区と合同で軽トラ市の開催	週1回程度、周辺地区と合同で軽トラ市を開催し、地元野菜等をPRする。	地域

Ⅶ. 重点項目

合同クリーン作戦の実施

当地区は、下原地区の中に床谷があるが、交流はなく、大掃除をする場合、それぞれ別の日に実施するといった状況であった。そのため、どちらの地区も掃除をしない場所があり、今回地域づくり計画を作るにあたり、地区間交流も合わせて、合同クリーン作戦を実施する。

ハザードマップの作成

近年、日本各地で地震、津波、集中豪雨等の自然災害が多発している。当地区にもおいても例外ではない。
両地区の公民館が避難施設に指定されているが、海拔11mから13mと低いところにあるため、津波が発生した場合は避難施設としての約割を果たさない。そのため、地域住民がいち早く高台に避難するための避難経路を調査し、ハザードマップを作成して住民に周知する。

名所・旧跡マップの作成

60年来の念願であった、佐須坂トンネルが平成27年度に開通することにより、厳原からの移動時間が15分以上短縮されることになり、当地区への人の流れが多くなると予想される。
そのため、佐須地区の玄関口としての名所・歴史を知ってもらうため、名所・旧跡マップを作成しPRする。

VIII. 地域づくり計画策定

1. 地域づくり計画策定までの取り組み経過

年月日	取り組み内容
H26. 6. 26	地区のキーマン（協力者）を探し、選出する
H26. 6. 26～ H26. 7. 10	「10年後も住み続けられる地域づくりにむけて」のアンケートを実施
H26. 8	アンケート集計
H26. 11. 13	区長・キーマン及び内部集落支援員を対象に、地域づくり計画策定に向けたスケジュール説明、地域づくり委員会のメンバー選定の説明会を開催
H26. 11. 28	第1回地域づくり委員会 アンケートをもとに、地域づくり計画の基本となる「私たちの〇〇宣言」について協議
H26. 12. 5	第2回地域づくり委員会
H26. 12. 19	下原・床谷地区 「私たちのふれあい、笑顔宣言」 完成
H27. 1. 16	第3回地域づくり委員会 「私たちのふれあい、笑顔宣言」をもとに地域づくり計画書素案協議開始
H27. 2. 5	第4回地域づくり委員会 ※計画書（案）の修正・再考
H27. 2. 19	第5回地域づくり委員会 ※計画書（案）の修正・再考
H27. 2. 26	第6回地域づくり委員会 ※計画書（案）の修正・再考
H27. 3. 12	第7回地域づくり委員会 ※計画書の最終検討



2. 地域づくり委員会名簿

役職等	氏 名	役職等	氏 名
下原区長	齋藤 勝行	床谷区長	中山 照道
キーマン	長瀬 節雄	キーマン	石原 英樹
委員	斉藤 良子	委員	平間 益夫
委員	村岡 幸代	委員	山下 英昭
委員	西村 圭司		
委員	齋藤 祐輔		
内部集落支援員	杉村 智律	地域マネージャー	佐々木 雅仁
地域マネージャー	山崎 栄作	地域マネージャー	金子 舞

平成26年6月26日～7月10日に実施した 「10年後も住み続けられる地域づくりにむけて」のアンケート結果

【下原地区】

問1. 現在のわたしの地区の魅力・いいなと思うところ。

化 歴 ・ 史 ・ 伝 ・ 統 ・ 文	・宗助国公の手足塚・お首塚を祀っている(10) ・昔から続く神社の祭り(9) ・対州鉱山跡地(5)
風 景 ・ 自 ・ 然 ・ 環 ・ 境	・田んぼ、畑、川など豊かな自然に囲まれている(15) ・四季の移り変わりが楽しめる(5) ・自分達の地区の美化に努めている(2) ・他の地区では増えてきている耕作放棄地・農休耕地が少ない(1)
産 業 わ い (へ な り)	・椎茸栽培が盛んであり、数年前から雇用もうまれた(8) ・そばの生産や野菜の栽培が盛んで景観も良い上、体験であい塾「匠」や、仕出し屋があり、地元産の物を食べるところがある(5)
暮 ら し ・ 会 ・ 社	・佐須坂トンネル開通により巖原市街地に近くなり、いろんな面で便利になりそう(3) ・交通面は不便だが静かで暮らしやすい(3) ・子供たちの挨拶がすばらしい、元気をもらう(2)
学 び ・ 交 ・ 流	・7月の第1日曜日に佐須地区アソビピックがあり、子供から老人まで参加出来るイベントである(4) ・昔からの習慣を話し伝えている(2) ・隣近所と助け合う暮らしがある(2)
健 康 ・ 福 ・ 祉	・デイサービスあすか園がある(5) ・佐須診療所があり、お年寄りなどには便利である(2) ・保育所がある(1)
安 全 ・ 安 ・ 心	・事件事故や犯罪も少なく安心して暮らしていける(5) ・佐須駐在所、消防団格納庫があり、安心・安全の中心地といえる(2)
人 ・ 人 ・ 柄 ・ 絆	・地域の絆が深く、人と人との付き合いが温かく感じられる(9) ・隣近所声をかけあい、大人も子供もよくあいさつをする(8) ・地域の輪があり、協力的な人が多く、地域の伝統を守ろうとする団結力がある(5)
お 祭 ・ ン ・ ト ・ イ	・昔から続く伝統のお祭り(お天道様祭り等)(6) ・保育所でのお祭り(ほしまつり)(3)

問2. 現在のわたしの地区のよくない・改善したいと思うところ。

化歴・史・伝・文	・宗助国公の手足塚・お首塚の看板や周辺をもっと整備した方が良い(3) ・対州鉱山跡地や宗助国公の手足塚・お首塚を観光名所にできるよう、四季折々の花を植えたら良いと思う(2)
風景・自然環境	・鹿や猪などの有害鳥獣で山も畑も田んぼも荒らされる(9) ・河川の土砂の堆積がひどく、雨の日が続くと氾濫しそうなので整備してほしい(8) ・せっかく美しい佐須川なのに、草木が生い茂っていて普段は水も流れてない(3) ・広い私有地(学園跡)があるが、草が生えっぱなしでみっともない。有効利用できないか(1)
産業いへなりわ	・人口の減少もあるが独自の産業もなく、働く場がほとんどない(4) ・お店が少ない(減少している)(4) ・米や野菜を作っている世帯が多いが販売等が難しく、販路が広がればもっと農業の技術がいかせるのではないか(2)
暮らし・社会	・高齢者が多いため、厳原までの公共交通機関の利便性を確保してほしい(このまま行くと通院にも困り、買い物難民になりそう)(8) ・車社会なのに歩道が未完成なので怖い(6)
学び・交流	・公民館講座がなくなって、交流の場がなくなった(4) ・子供が少なくなってきたので、学力の低下や学校の統廃合が心配(3)
健康・福祉	・高齢者が多いが、大きい病院が遠い(3) ・1人暮らしが増え、見守り等不安である(2) ・健康作り、体制作りができていない。ヨガや気功教室などがあればよい(2)
安全・安心	・河川の土砂の堆積がひどく、雨の日が続くと氾濫しそうで怖い(6) ・通学路に危険箇所がある(1)
柄人・絆人	・若い人がもう少し元気になってもらいたい(1) ・この辺りでも隣は何をしているかわかりません(1)
お祭り・イベント	・イベントを増やしてほしい(4) ・多額の寄付を住民に募ってまでお祭りをする必要があるだろうか(派手なお祭りはいらない)(3) ・昔は盆踊り大会があっていた。数年に1回でもあるとうれしい(1)

問3. 10年後のわたしの地区、こうなってほしくないと思うこと

- ・人口減少(16)
- ・空き家が多くなる(9)
- ・少子化・高齢化が進み、限界集落になってほしくない(7)
- ・学校が統廃合される(3)

問4. 10年後のわたしの地区、こうなったらいいと思うこと。

- ・佐須坂トンネルが開通するから人口が増加し、活気ある地区になってほしい(16)
- ・若者が働けるような職場や産業が増える(5)
- ・高齢者が安心して暮らしていける地区であってほしい(5)
- ・美しい自然を守り続ける。ポイ捨て等絶対しない(3)
- ・西海岸の防衛の拠点になればいいと思う(人口増加も期待出来る)(2)

平成26年6月26日～7月10日に実施した 「10年後も住み続けられる地域づくりにむけて」のアンケート結果

【床谷地区】

問1. 現在のわたしの地区の魅力・いいなと思うところ。

化 歴 ・ 史 伝 ・ 統 文	・宗助国公の手足塚・お首塚を祀っている(3) ・対州鉱山跡地(1)
風 景 ・ 自 然 環 境	・宅地高台、遠方山並、自然環境(7)
産 業 わ い (な い) り	・椎茸栽培が盛んであり、数年前から雇用もうまれた(1)
暮 ら し ・ 会 し ・ 社	・団地近辺にグラウンドがあり、子供の遊び場がある(2) ・暮らしやすい(1)
学 び ・ 交 流	・昔からの習慣を話し伝えている(1)
健 康 ・ 福 祉	・健康に関して相談が出来る(1)
安 全 ・ 安 心	・顔見知りばかりなので安心できる(2) ・佐須駐在所、消防団格納庫があり、安心・安全の中心地といえる(1)
人 ・ 絆 人 柄 ・	・地域の絆が深く、人と人との付き合いが温かく感じられる(1) ・隣近所声をかけあい、大人も子供もよくあいさつをする(3)
お 祭 り ・ ベ ン ト ・ イ	・年1お祭り、イベントがほしい(5)

問2. 現在のわたしの地区のよくない・改善したいと思うところ。

化歴・史・伝・統・文	・
風景・環境・自然	・佐須川の雑木、雑草が見苦しい(1)
産業(わいのなり)	・人口の減少もあるが独自の産業もなく、働く場がほとんどない(3)
暮らし・社会	・人口減少、高齢化で暮らしにくくなりそう(2) ・住民の安全安心、無災害の地区になりますように(1) ・動物(猫)等が多く糞尿等の悪臭、感染が心配(1) ・グラウンドに遊具がほしい(1) ・仕事がなく、この先不安(2)
学び・交流	・子供が少なくなり、複式学級で交流も望めない(1) ・共働きだが学童もなく不便(1)
健康・福祉	・病院が遠く、救急面で不安(2)
安全・安心	・グラウンドの整備フェンス等(2) ・自然が多いのはいいが、獣等不安(1)
人・人柄・人柄	・一部の方だが集会、交流等悪い(1) ・元々地元の方はいいが、団地に新たに入られる方からは地区に入りづらいイメージがある(1)
お祭り・イベント	・イベントを増やしてほしい(2)

問3. 10年後のわたしの地区、こうなってほしくないと思うこと

- ・人口減少(5)
- ・空き家が多くなる(1)
- ・少子化・高齢化が進み、限界集落になってほしくない(4)
- ・地区内の畑等の荒れ(動物被害)(3)

問4. 10年後のわたしの地区、こうなったらいいと思うこと。

- ・佐須坂トンネルが開通するから人口が増加し、活気ある地区になってほしい(6)
- ・若者が働けるような職場や産業が増える(2)
- ・高齢者が安心して暮らしていける地区であってほしい(1)
- ・美しい自然を守り続ける。ポイ捨て等絶対しない(2)
- ・共働きでも子育てしやすい地区になってほしい(1)
- ・交通の便が良くなり、暮らしやすい地区になってほしい(3)
- ・グランド(広場)の有効利用(1)
- ・地区の交流、イベント等充実(3)
- ・佐須坂トンネルが出来るので、厳原小、中学校への統合(1)